



第28回 スマイルインタビュー



結成のきっかけは？

2001年4月、ボランティア団体として発足しました。当時は荒れた世相で、JR大竹駅前には若者たちが地べたに座り大声でわめき散らし、通行人が恐ろしい思いをしていました。何とかしようと駅前に住民らが立ち上がりパトロールを始めたのです。

参加者はどんな人？

新町、油見の自治会防犯部を中心に、設立当初からのボランティア有志の協力で活動しているが、設立19年をすぎ高齢となった方の退会が続いています。今では会員数は40人足らず。そのため、新町、油見地区以外の賛助会員を募り、なんとか活動を継続しているような状況です。

どんな活動をしていますか？

毎月第3または第4土曜日に地域内の防犯パトロールを行うとともに、会員の都合のつく日時に、地域の通学路の要所に立ち、児童、生徒の下校時の見守り活動を行っています。また「米作り学習」や「昔の遊び教室」などを通し大竹小児童の交流を深め同小の諸行事にも積極的に

参加しています。

活動に対する思いは？

これまでの活動があるからこそ、平穏な生活環境を保っているのであり、「今が当たり前」と勘違いするところとあつという間に元に戻ることを知ってほしい。稲作の体験学習は18年におよび、成人になった経験者もいます。子どもたちの感謝の言葉がわれわれの励みとなっています。

今後の目標は？

「継続は力なり」です。会員の皆さんは高齢にもかかわらず、体にムチうち頑張っておられます。新規会員が増え活動のさらなる活性化が図れることを願っています。



大竹小学校にて児童との稲刈り

あとがき

新年度予算がスタートし早、1カ月がたちました。

厳しい予算編成の中で、一般会計は約178億円という過去最大の予算規模となりました。

主要事業として、大竹駅の周辺整備・大竹会館改築・本庁舎耐震改修・本庁舎隣に統合移転する市立保育施設や晴海臨海公園の整備などがあり、大竹市が動き始めていくように思います。

これらの事業が計画通り実行性のあるものとして進められ、魅力があり子育てのしやすいまちになるよう、議会としてもしっかりとチェックしていきたいと思えます。

議会改革の一環として進めたタブレットの導入も一応にみな慣れはじめ、効率的な議会活動へと努力をしています。また、SNSの発信準備など市民の皆様にも議会の情報が伝わるような取り組みにも挑戦しているところです。

私達、広報広聴特別委員も、皆

様に議会活動がわかりやすい広報作りに取り組んでまいります。

是非ご意見やご感想をお寄せ下さいますようお願いいたします。

新型コロナウイルスが世界的にまん延しており、全国の学校の一時休校をはじめ、都府県に緊急事態宣言が発せられるなどさまざまな活動の自粛要請で、委縮した生活を余儀なくされる状態が続きますが、皆さん感染防止に努めると共に前向きに日々を過ごしていきましょう。

広報広聴特別委員

- 委員長 北地 範久
- 副委員長 小田上 尚典
- 藤川 和弘
- 原田 孝徳
- 小中 真樹雄
- 中川 智之
- 日域 究

発行：令和2年5月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方一丁目11-1

TEL 0827-5912183

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。